

授業概要

中学校国語科の求められている各領域の指導事項を基礎的・基本的な内容として生徒が確実に習得していくための教育法を確立するとともに具体的な方法を講じて授業展開していく。特に、新版の教科書教材を活用しつつ、生徒に求められている各領域の能力を身につけるためには指導方法等の工夫改善がなくてはならない。したがって、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化」等の系統性を理解して、言語活動例としての生かす手立てを講じる必要がある。授業では、中学校段階として求められている国語科の能力を具体的教材を通して授業改善につなげていく方策を探るようにする。

授業計画

第1回	中学校で求められている国語の能力(1) ・常用漢字が読める・より論理的な文章表現の理解
第2回	中学校で求められている国語の能力(2) ・常用漢字の熟読 ・批評する力の育成
第3回	「話すこと・聞くこと」の系統性の具現化(1) ・中学校で身につけるべき指導法(スピーチ力)
第4回	「話すこと・聞くこと」の系統性の具現化(2) ・討議法によって論点を明確にする
第5回	「読むこと」の系統性の具現化(1) ・物語を読み解く力の育成
第6回	「読むこと」の系統性の具現化(2) ・語り継がれることの大切さの理解
第7回	「読むこと」の系統性の具現化(3) ・登場人物の内面と対話して考える
第8回	「書くこと」の系統性の具現化(1) ・批評文を書き交流する
第9回	「書くこと」の系統性の具現化(2) ・投書を読み、短文で書く
第10回	伝統的な言語文化の具現化 ・漢詩を味わう ・近代の俳句を鑑賞する
第11回	書写の実際 ・行書の実際、行書の原則の理解 ・硬毛関連の考え方
第12回	指導案の書き方 ・指導案の実際と書き方 ・生徒の実態の考え方
第13回	中学校国語科模擬授業実践(1) ・受講者による模擬授業 ・授業に対する意見交流と評価
第14回	中学校国語科模擬授業実践(2) ・受講者による模擬授業 ・授業に対する意見交流と評価
第15回	国語科教育法Ⅲを振り返る ・授業の組み立て方 ・評価観の転換を目指して
第16回	レポート提出 まとめ

到達目標

中学校の国語科として身につけなければならない能力を具体的な授業設計をしつつ、模擬授業につなぐことを目標とする。

履修上の注意

中学校で求められている国語科の能力は、各領域ともに「伝える力」をいかに身につけていくかということである。したがって、生徒の力を引き出すための授業の在り方そのものが問われることになる。日頃から授業改善をするという強い信念で立ち向かえるよう努力をしてほしい。

なお、模擬授業の機会を増やし、実践力をつける。

予習復習

- ・予習、復習をして各領域の基礎的・基本的な内容を理解して、教材研究の必要性を実践する習慣を身につけること
- ・ノート整理をして学びの習慣化を図ること
- ・日頃から社会問題に関心をもって様々な話題に対処できるようにしておくこと

評価方法

授業内の学習活動(30%)及び、授業内での提出物(30%)、授業の達成目標の達成度を課題レポート(40%)によって評価する。

テキスト

テキスト：『中学校学習指導要領解説書国語編』（文部科学省） なお、テキスト、参考文献等については、授業内で指示する他、適宜推奨図書を紹介したり、必要な資料を配布したりする。